

## II 施設・事業

### 1 生活保護施設

#### 淀川寮《救護》事業実施報告

##### ① 施設の運営方針及び平成26年度の取組と成果について

平成26年度経営面で非常に苦しい状態となった。原因は入所者の大幅な減少である。25年度から徐々に入所者確保が困難になってきていることの自覚と予想はあったが、26年度はその予想をはるかに上回る入所者減となった。

月初在籍人数が定員近くになることはなく、6月に100名を切って以降は下がり続け、下半期は月初在籍人数が定員の8割弱を推移する状態であった。

これについては年度途中で大阪府下20か所以上の病院をまわり入所者確保のための依頼とその後の施設見学会を行ったが、もう少し早くかつ計画的に行うべきであったと言える。

精神障害や高齢による介助見守りの処遇、障害の受容から手帳取得、法律関係といった施設で一定のトリートメントを要する利用者への支援においては関係機関から一定の評価を得ている。

しかし予定外の支援員人員減の中で、広範囲かつ手厚さを必要とする利用者を受け入れていかねばならないしんどさが身にしまった1年であった。

昨年度末で水道料金減免の全面廃止ということで26年度水道光熱費支出増で予算を組んでいたが、年度途中で当施設が共同住宅料金の取り扱い適用がされることが判明し、水道局に掛け合せて4月に遡って適用してもらうことで、施設全体として220万円強の返還金が出たことは支出を抑える大きな一つとなった。

##### ② 職員配置及び異動状況

年度途中で支援員2名・厨房職員2名の予定外の退職者があった。これに伴う人員補給を試みたが応募がなく、最終的に補充を断念せざるを得なかった。

人員減により現場の業務への影響は小さくはなかったが、現場レベルに理解を求め、業務の組み直しと現場の努力の結果により運営することが出来た。

##### ③ 建物のメンテナンス状況及び固定資産物品の購入について

建物の老朽化による施設そのものの劣化はすすむばかりで、今年度は4月の救護浴室の配管破裂による水漏れから始まり、空調故障など的高額な修理修繕や器具取り換えが予定外に発生。8月には早々に予算額を超えてしまう事態となった。

敷地全体の地盤沈下は止まらず、各所で小規模な陥没がみられ、それが様々な建造物や機器の故障に大きな影響を及ぼしている状況にある。

即利用者に危険が及ぶもの、もしくは健康や衛生に影響の出るものについて応急的対応を行った。

##### ④ 平成26年度の危機管理状況(防災、建物管理、不審者対策、個人情報保護など)

施設防災計画・マニュアルの作成については、H26年度中は具体的に進めることができなかったが、1年間の防災訓練計画に基づき、防災訓練・消火器使用訓練・通報訓練・消火放水訓練・AED救命訓練・自転車交通安全指導などは滞りなく実施できた。

加えて不審者対策・暴漢対策として、26年度新しく東淀川警察より講師を招き護身講座を開催した。

##### ⑤ 施設の利用状況及び利用者の状況

救護施設個別支援計画に基づく利用者支援を様々な社会資源と連携しながら行ってきた。また居宅生活訓練事業や通所事業についても本体事業と連携協力し合いながら行えたと思われる。

救護は前年度よりも入所依頼・受付面接を行う人数を増やし、措置機関からのニーズの取りこぼしをできるだけなくすようにした。

受付面接即日受け入れや、措置機関の求める場所に面接に向くこと、入所や面接に際し車で送迎するなどの配慮をしたが、入所者数に反映されたとは言い難い。

また今年度後半には大阪府下20か所以上の病院をまわり、入所者確保のやめの営業活動とその後の施設見学会を管理職・現場レベル一体となって積極的に行った。これについては来年度以降反映されることを期待したい。

利用者個々の傾向に目を向けてみると、社会経験が乏しく集団生活に馴染めない利用者や、基本的な生活能力やコミュニケーション能力が低く、他社との関係を築けないという利用者が増える傾向にある。

住環境においては現在の1部屋6名という中では安定した生活を送る事が困難な利用者も多くみられている。入所者減で空ベッドが多いという問題はありますが、1部屋の人数が少ないことや仕切り部屋避難的に使用することで、ある程度のトラブル回避や処遇アレンジが効いたという一面もあった。

##### ⑥ 人材育成の取組状況

全国救護施設協議会、近畿救護施設協議会、大阪府・市の研修センター、大阪市生活保護連盟等が開催する研修に、職員の支援スキルアップを目的に参加。

また入所者傾向を見据え地域生活定着支援センター主催の研修にも参加を行った。

自己啓発による社会福祉士、精神保健福祉士の資格取得については26年度新たな取得者はいない。

⑦ 地域、他機関等との連携、市民・NPOとの協働等の取組

法人内の生活保護施設間の連携を強めるよう努力。  
全救協・近救協をはじめ、大阪市生活保護施設連盟、大阪府成人施設部会、東淀川区の社会福祉施設連絡会や自立支援協議会へ参加するのみでなく、より良き関係になれるよう積極的に関わりをもつよう努めた。  
遠ざかっていた大桐連合町会や地元の辻堂第2町会への参加を復活させ、地元との関係を再構築する足掛かりをつくり、また地域貢献の一歩としてボランティアクラブ発足の準備を行った。

⑧ その他

法人確認監査で指摘された事項に未達成項目があるため来年度も継続し取り組む必要あり。

## 淀川寮《更生》事業実施報告

### ① 施設の運営方針及び平成26年度の取組と成果について

「民間移管に耐える財務及び処遇体制の整備」を掲げ取り組んで来た。財政基盤の柱を成す利用者動向は設定した平均95名の入所は大きく目論見を外れ、後半にやや持ち直しを見せたとは言え一時は70名を割り込む状況となり打つ手が無かったのが正直なところである。

これにより大幅な収入減が見通されたが事務費改定が良い方向に振れたことにより、大きなダメージを被るような結果とはならず許容範囲の結果となったと評価している。

並びに利用者支援の現場においては、重度の精神疾患や覚醒剤課題、刑余者といった他の施設に行きどころが無く最後のセーフティネットとして入寮打診があったケースにおいては、必要即応的に対応し面接から直接即日入所を前面に押し出し、時には出張面接にも応じ措置機関からは一定の評価を得ていると自負している。

同時に救護と一体的に関係機関を訪問しPRすると共に、初めての試みとして病院関係者を招いての説明会も実施した。

措置を待たずに戦略的に受け入れをアピールすることを今後も継続していきたいと考える。

これらを支える基盤として職員全体のホスピタリティ意識向上を目標に掲げたが、未だ途上で今後の繰り返し意識を高める取り組みを地道に行う必要がある。

### ② 職員配置及び異動状況

各職種において定員配置は不足無く行えたが、補助的間接的業務において退職者が出るも安易な補充を見送った。

一方で必要性があり補充に動いた業務においても昨今の雇用環境の中、苦戦を強いられている状況である。

また、救護と一体的運営を行っていることから複合的な要素が絡む面もあり先を見据えた改革に着手することが難しい部分もあったのは確かである。

### ③ 建物のメンテナンス状況及び固定資産物品の購入について

固定資産物品の購入凍結は継続しており、必要に差し迫られたPCの買い替えに留めた。一方で対象は異なるが新OAシステムの開発と導入の計画は大きく齟齬が生じ、未だ本格導入出来ていない状況である。

遑ってのコンセンサス形成が不全であったことが主因と考えるが、要している費用を考えた場合、正式導入後に検証が必要な事象であることは間違いない。

建物メンテナンスは予算関係上積極的な取組は行っていない。あらゆる部分に瑕疵が発生しているのはここ数年継続しており、抜本的な対策が必要であるが、民間移管の取組みの中で大阪市と協議する最優先課題として引継ぎたい。

### ④ 平成26年度の危機管理状況(防災、建物管理、不審者対策、個人情報保護など)

危機管理全般において「受け身」の体制となったことは否めず反省し、能動的な体制を構築せねばならない。

防災については何時起こってもおかしくない状況ではあるが、いわゆる大規模災害を念頭に置かずとも日常において備えないといけない危機が可視化出来る面があった。

建物においては大阪市の一義的責任はあるとは言え、自家発電機が機能しないまま放置であることや地盤沈下が継続していることなどがある。

これらは責任所在云々を議論する前に問題が起これば人命に関わる可能性のあることであった。

また、利用者が反社会的な側面を持つ傾向の高まりもあり、安心安全を守る体制も脆弱であると言わざるを得ない。

### ⑤ 施設の利用状況及び利用者の状況

重ねて述べるが利用者の抱える生活課題は更生施設の域を超えている。しかしながら一旦、可視化された利用者層は行きどころを持たず困窮しており、生活保護施設の使命として出来る限り応えて来た。

行政機関においては、大阪市からの措置が減少の一途を辿っており終盤においては問い合わせさえ無いような状況となった。

新たな関係機関として期待した地域定着からも思うほど問い合わせが無く、明らかに高齢や障がい者手帳を有するとする支援対象からは救護を優先される傾向となっているのであろう。

少なくとも淀川寮同士での奪い合いは避けたいと考える。

### ⑥ 人材育成の取組状況

年度途中より主任を除く指導員に個別課題を設定し研修に取り組みさせた。

ねらいは個別の専門分野を獲得させ仕事へのモチベーションを高めることと、指導員組織としてのスキルを向上させることにある。

各人が意欲を持って取り組んでおり、利用者支援の幅を広げることに関心をもち、今後資することを期待出来る。

また、看護師にも年度末からであるがJTBTに係る研修を受講させ、今後の社会の一つのムーブメントとなり支援の受け皿として要請がなされた時に備えている。

一方で他の職種においてキャリアパス形成に繋がるような機会提供が十分に出来ず、次年度以降の課題としたい。

⑦ 地域、他機関等との連携、市民・NPOとの協働等の取組

地域との関係構築においては救護と一体的に淀川寮として地元町会からのアプローチが緒に就いたところである。地道な活動を継続していきたい。

他機関との連携は計画で掲げた生保連や府社協成人施設部会を中心にこれも救護と連携し取り組んだ。

また、区施設連絡協議会へは救護が主に活動することで調整している。更生独自の動きとしては更宿連の副会長職を拝命し、これを通じて全社協厚生事業協議会への参画も叶い、なかなか存在をアピールする機会が無い更生施設の働きを知らしめることとなっている。

一方で、法人内生保施設間の連携は当初計画通りには進展せず、課題が先送りになっている感は否めないところである。

⑧ その他

事業全般に亘ってのマニュアルやフロー作成が課題として残る。

## 大淀寮《救護》事業実施報告

### ① 施設の運営方針及び平成26年度の取組と成果について

平成25年7月から、指定管理者制度により更生施設の旧一時保護所の部分を30名定員の救護施設にて開所。平成26年度より、更生施設の定員が190名から124名に変更となり、自立支援センターと大淀寮別館の4つの建物で運用を開始。

入所依頼については、途切れることなく大阪24区、他市、病院、地域定着などより依頼有り。入所依頼があればできる限り入所前面接を実施し、総合相談を含めてワンストップの意識を持って実施する。

利用者の傾向においては、アルコール依存やギャンブル依存などのアディクション及びパーソナル障がい、知的障がい、精神疾患など、何らかの問題を抱えた(重複した問題を抱えた)入所者が増加しているため、投薬管理、金銭管理、通院付添など手厚い支援が必要となる。

自立後も何らかの支援が必要となるケースが多く、平成26年度より通所事業を申請し実施する。

通所事業については、更生、救護で連携し、救護棟で1つの通所事業部として実施する。食事サービス、入浴サービス、寮内レク、卓球クラブ、コーヒータイム、寮内作業など通所訓練のプログラムを作り、デイサービスに近い形で取り組み、更生と救護で30名程のアパート自立後のアフターケアを実施。通所事業の役割を活かし、地域との連携も含め取り組んでいく。

他方では生活困窮者自立支援法が成立、27年度から施行されることを見越して、地域や北区と連携をとり、緊急要請にも対応し、これまで積み重ねた専門的なスキルや経験を活かし、新たな事業にも目を向けていく必要があると考える。

平成26年12月より豊崎地域包括(ハートフル)の職員と連携をとり、豊崎東会館で地域の高齢者を中心とした総合相談を月1回実施。今後民生委員の方との合同会議も実施していく。

平成26年3月より、北区生活困窮者自立支援事業の自立相談支援担当職員と調整を行い、北区社協との関係を深め、地域ネットワークを構築させていきたい。

障害者雇用についても平成26年度より積極的に実施し、担当を設けサポートできる体制を構築させ、職員全員が意識を持ち協力して取り組む。

### ② 職員配置及び異動状況

大淀寮救護施設の職員配置は30名定員で施設長1、事務員1、看護師1、指導員1、介護職員6、介助職員1という配置基準が本来であるが、それ以外に夜間業務補助員2名を配置。

又、複雑な問題をそれぞれが抱えている利用者の現状と社会における救護施設の役割を考えると食事面のケアは重要視される。

そのことを踏まえて栄養士1名を追加で配置し、手厚いケアを実施。通所事業に向けての申請の基準を満たすために、平成25年度に準職員を3名採用し、平成26年度より申請を行い実施。

障害者雇用枠として、障がいのある人を雇用するための体制を築き、平成26年度は作業員として2名雇用する。

### ③ 建物のメンテナンス状況及び固定資産物品の購入について

建築基準法による建築物・建物設備の定期点検、建物・施設の安全に支障がないかを自主点検し、必要に応じて修理修繕を行っている。

また給排水設備の清掃や定期点検、電気設備の保守契約・ガス設備の定期点検、エレベーター定期点検なども実施。

それ以外の修繕関係として、エアコンの室外機、ボイラーの故障で部品交換を実施。

トイレのタイル関係も防水が効かない状態であり、掃除で水を流すと下に水漏れ有り。現在は修理・点検にて一時的な対応をしている。

豊崎東会館の2階については、雨漏りが見られる。漏電による火災につながる可能性も有るため早急な改修工事が必要ではあるが、現行の指定管理の中では予算立てではなく、また経営面でも費用を捻出する余裕がないため着手できていない。

現在は雨漏りの部分の電気をつけないように一時的に対応している。

大阪市に提出する書類の内容にも修繕が必要な部分については記入し報告をしている。

### ④ 平成26年度の危機管理状況(防災、建物管理、不審者対策、個人情報保護など)

消防計画や防災管理を3施設で連携して一体的に管理運用し、合同での避難訓練を年2回実施し、職員のみでの避難訓練及び動作確認を1回実施する。

平成26年度よりAEDを施設内に設置及び緊急災害時用備蓄食を購入し、緊急時の対応についても強化を図る。今後も組織的な機能を確立されるために検討し、更なる救護施設の管理体制の構築に努めていきたい。

また、感染症(インフルエンザ・ノロウイルス)については、対策マニュアルを作成し対応。予防についての注意喚起のおかげで発生者なしで今年度も速やかな対応ができた。

利用者からの日常の苦情や意見については、職員の適切な応接、寄せられる苦情なども真摯に受け止め、表面で流すことなく背景にある問題を認識し、きちんと返していく姿勢を徹底している。

施設の中では、利用者と共に1回意見交換をできる場として全体会を実施し、苦情受付システムによる苦情箱の対応も実施。第三者の立場から苦情相談を行う苦情相談会も実施する。

個人情報保護について、利用者に対しては入寮時のオリエンテーションで個人情報の説明を実施し、併せて法人の基本方針の掲示を案内している。

今後も利用者の情報だけではなく、あらゆる情報の取り扱いに注意し、職員が共通の注意と危機意識を持つよう指導する。

⑤ 施設の利用状況及び利用者の状況

利用者の傾向においては、アルコール依存やギャンブル依存などのアディクション及びパーソナル障がい、知的障がい、精神疾患など、多様な問題を抱えた(重複した問題を抱えた)入所者が増加しているため、投薬管理、金銭管理、通院付添など手厚い支援が必要となる。医療機関との連携を密にして情報の共有を図り支援していく。

⑥ 人材育成の取組状況

職員のスキルに合わせ初級、中級、上級職員としてのスキルアップ研修を実施する。  
年間研修計画を基に指導的職員研修を含め研修に参加する。勉強不足である分野の研修にも積極的に参加してもらいスキルアップを図る。職員の自主性自発性にも重視して今後も実施していく。

⑦ 地域、他機関等との連携、市民・NPOとの協働等の取組

平成26年12月より北区豊崎地域包括の職員と連携をとり、豊崎東会館で地域の高齢者を中心とした総合相談を月1回実施。  
平成27年度より民生委員の方との合同会議を年3回実施していく予定。  
また、平成27年4月より、北区社協が代表法人である北区困窮者自立支援事業の自立相談支援事業については、共同体として協力体制を築き、社協の担当職員と調整を行い、北区社協との関係を深め、地域ネットワークを構築させていきたい。  
地域の活動として、豊崎東地域活動協議会構成団体の1つ豊崎東ネットワーク委員会と共催にて「高齢者の食事サービス」「ふれあい喫茶」を実施。  
豊崎東小学校の授業にも参加。施設職員がゲストとして招かれ、授業をサポート。大淀寮としては長年ソフトボールの指導を担当させて頂き、その関係で卒業式など学校行事にも来賓として出席。  
その他にも、豊崎東地域盆踊りカーニバル、豊崎東敬老大会、豊崎東寿老会連合会開催の「芋ほり」、北区福祉ふれあいフェスタなど準備から当日の参加及び後片付けまでを積極的に実施し、地域の一員として意識を持ち取り組んでいる。  
今後も地域のサポートを積極的に行い、地域との関係を密にし、少しでも手助けが出来るように努力していきたい。

⑧ その他

平成26年度より通所事業開始に伴い、平成26年度も若干の赤字経営となる。  
来年度は利用者へのサービスの質を落とさず、経費削減に努力し、入所者確保に努めていく。  
また、大淀寮全体での動きも円滑に稼働できるような仕組みを作っていく。

## 大淀寮《更生》事業実施報告

### ① 施設の運営方針及び平成26年度の取組と成果について

平成26年度は更生施設／救護施設／別館（豊崎東会館）の3つの建物を運用。本年度末で居宅移行支援事業が終了した。また別法であるが併設の自立支援センター大淀が閉鎖された。

これまで相談窓口の段階で団体生活である施設保護を望まない被保護者が徐々に増えていたが、26年度は特に加速している。一方で収入充当が厳密に行われるようになったことから、就労や一部就労による自立が増加しており、8月以降の利用者平均は約81名と定員を大きく下回り、引き続き厳しい運営状況となった。

入所依頼に対しては、出来る限り受け入れる方針をとったが、状況によって当寮で受け入れられない場合でも、淀川寮とも連携し、協力して利用者の受け入れを行った。

今後も引き続き厳しい施設運営が見込まれることから、次年度に向けて給食関係の見直しの他、生活保護4施設でリネン関係の経費削減の取り組み等を行った。

利用者に対しては、生活保護を取り巻く厳しい状況を全体会などで説明し、協力を得ている。

### ② 職員配置及び異動状況

施設長1、主任1、主任看護師1、指導員5、事務員2、栄養士1、嘱託医1、その他に通所訪問相談員、作業指導員、休日業務補助員など5名を配置した。

また夜間業務補助員については当初2施設で5名を配置したが、業務が複雑になる事と、1名が退職した事から各施設2名の配置に変更した。

### ③ 建物のメンテナンス状況及び固定資産物品の購入について

建築基準法による建築物・設備の定期点検、建物・施設の安全に支障がないかを点検し、必要に応じて修理修繕を行っている。また給排水設備の清掃や定期点検、電気設備の保守契約、ガス設備の定期点検などを事業契約に基づいて行っている。

食堂／食堂廊下／3階中央階段の雨漏り、内外壁の塗装、屋上防水など、経年劣化による不具合箇所が多数あるが、現行の指定管理の中では予算立てがなく、経営面でも費用を捻出する余裕がないため応急処置で対応している。

厨房機材についても20年以上経過しているものがあり故障が懸念されるが、指定管理終了後の形が明確でなく、費用を掛けられない状況である

### ④ 平成26年度の危機管理状況(防災、建物管理、不審者対策、個人情報保護など)

消防計画や防災管理を3施設で連携して一体的に管理運用。合同の避難訓練を2回実施した。その他定期的に消防設備の点検を行っている。今年度は一部避難誘導灯の修理、消火器の交換を行った。

利用者の事故に対しては、何らかの問題を抱えた利用者が多い中で、単独の更生施設としては職員が手薄で余裕のない状態が続いており、重要情報は救護施設と共有している。

感染症対策については利用者への注意喚起の他、インフルエンザやノロウィルスの対策マニュアルを策定しているが、今年度は若干名の発生で抑えられた。

個人情報保護については、利用者に対して入寮時に説明。併せて法人の基本方針の掲示を案内している。また職員に対して法人内外の事故や報道による状況を伝えて事故防止の意識を注意喚起している。

### ⑤ 施設の利用状況及び利用者の状況

平成26年度は一時保護機能終了に伴う定員変更も行われなかった上、入所者数が前年度比63%と激減。一方退寮の内訳では敷金支給を含めた就労自立が増加している。また利用者は様々な問題を抱えて入所してくるが団体生活に馴染めず、課題解決に至らずに退所する者も多く、定員充足に至らない状況であった。

利用者の状況については20～30代の利用者が増加傾向にあり、知的障害、精神疾患、アディクション、それらの疑いのある利用者が半数を占めている。

⑥ 人材育成の取組状況

府社協、市社協主催の研修の他、更生施設を取り巻く状況の変化に立ち遅れないため、26年度は生活困窮者自立支援法に向けての研修や、近年増加している薬物依存関係、地域定着関係などの研修に職員を派遣し、スキルアップを図っている。また更宿連研修の開催地であった事から事例報告の他多数の職員が参加した。

⑦ 地域、他機関等との連携、市民・NPOとの協働等の取組

地域の一員として町会活動に参加。夏祭りや敬老大会の運営に協力している。また地域のネットワーク委員会と協働して集いの場としての喫茶、地域内での孤立を防ぐための食事会を実施している。  
北区施設連絡会に加入してイベントに参加。また北区地域包括運営協議会にも参し、地域包括の出張相談会に会場を提供して相談にも協力している。  
その他の地域活動に会場提供をしている。

⑧ その他

今回の指定管理は今年度で終了するが、28年度以降の形が今のところ明らかになっていない。いずれにしても生活保護施設を取り巻く状況はいよいよ厳しい状況であり、地域に必要とされる施設であるために役割を果たしていく。



## (1) 年間入寮状況

## ① 淀川寮《救護》定員110名

(平成27年3月31日現在 単位:人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計 月平均
初日 在籍 人員	103	100	92	101	98	93	87	84	83	84	89	86	1,100 91.7
延人員	2,975	3,009	2,827	2,923	2,837	2,514	2,416	2,337	2,511	2,584	2,401	2,555	31,889

## ② 淀川寮《更生》定員90名

(平成27年3月31日現在 単位:人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計 月平均
初日 在籍 人員	89	81	81	80	72	70	67	66	65	69	72	71	883 73.6
延人員	2,443	2,482	2,390	2,290	2,079	1,995	1,981	1,974	2,031	2,157	1,951	2,211	25,984

## ③ 大淀寮《更生》定員124名

(平成27年3月31日現在 単位:人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計 月平均
初日 在籍 人員	105	94	95	88	80	83	81	76	80	81	86	82	1,031 85.9
延人員	3,025	3,005	2,751	2,590	2,391	2,483	2,463	2,280	2,458	2,543	2,383	2,479	30,851

## ④ 大淀寮《救護》定員30名

(平成27年3月31日現在 単位:人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計 月平均
初日 在籍 人員	34	36	34	31	29	32	32	29	27	31	31	38	384 32.0
延人員	950	966	892	875	832	865	829	815	892	832	817	1,150	10,715

## ⑤ 合計 定員354名

(平成27年3月31日現在 単位:人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計 月平均
初日 在籍 人員	331	311	302	300	279	278	267	255	255	265	278	277	3,398 283.2
延人員	9,393	9,462	8,860	8,678	8,139	7,857	7,689	7,406	7,892	8,116	7,552	8,395	99,439

## (2) 年間入退寮状況

(平成27年3月31日現在 単位:人)

区 分	昨年度繰越	入 寮	退 寮	年度末現在員
淀川寮《救護》	103	70	89	84
淀川寮《更生》	89	68	82	75
大淀寮《更生》	104	73	98	79
大淀寮《救護》	34	29	25	38
計	330	240	294	276

## (3) 退寮理由

(平成27年3月31日現在 単位:人)

区 分	就 労		アパート自立		施設変更	高齢者 施設	ケア付き 住宅	入院	自主	勧告	無断
	就労自立	一部保護	居宅保護	年金等							
淀川寮《救護》	3	3	28	1	0	3	0	8	16	13	12
淀川寮《更生》	12	13	10	0	2	0	0	3	12	9	20
大淀寮《更生》	16	9	13	3	2	0	0	0	31	7	13
大淀寮《救護》	1	1	8	0	0	0	0	3	2	1	9
計	32	26	59	4	4	3	0	14	61	30	54

区 分	死亡	その他	計
淀川寮《救護》	1	1	89
淀川寮《更生》	0	1	82
大淀寮《更生》	2	2	98
大淀寮《救護》	0	0	25
計	3	4	294

## (4) 在寮期間

(平成27年3月31日現在 単位:人)

区 分	1ヵ月 未 満	1～3ヵ月 未 満	3～6ヵ月 未 満	0.5～1年 未 満	1～3年 未 満	3～5年 未 満	5～10年 未 満	10年以上	計
淀川寮《救護》	5	10	15	17	26	9	2	0	84
淀川寮《更生》	7	9	7	18	21	7	6	0	75
大淀寮《更生》	5	11	9	14	28	10	2	0	79
大淀寮《救護》	0	10	4	4	20	0	0	0	38
計	17	40	35	53	95	26	10	0	276

## (5) 年齢別

(平成27年3月31日現在 単位:人)

区 分	～20歳 未 満	20～30 歳 未 満	30～40 歳 未 満	40～50 歳 未 満	50～60 歳 未 満	60～65 歳 未 満	65～70 歳 未 満	70～75 歳 未 満	75歳以上	計
淀川寮《救護》	0	1	4	16	22	19	13	5	4	84
淀川寮《更生》	0	5	10	15	33	12	0	0	0	75
大淀寮《更生》	1	8	10	12	28	14	5	1	0	79
大淀寮《救護》	0	2	5	8	10	8	2	2	1	38
計	1	16	29	51	93	53	20	8	5	276

## (6) 身体障害者・知的障害者等の状況(複数回答)

(平成27年3月31日現在 単位:人)

区 分	身体障がい者手帳所持			知的障がい		精神障がい		依存症等				計
	1級	2級	3級以下	手帳有	手帳無	手帳有	手帳無	アルコール	ギャンブル	薬物	その他	
淀川寮《救護》	1	0	1	9	5	18	16	16	4	3	0	73
淀川寮《更生》	0	0	2	2	7	1	15	3	4	7	0	41
大淀寮《救護》	1	0	2	5	5	8	8	3	0	1	1	34
大淀寮《更生》	0	0	1	3	16	2	16	6	3	4	0	51
計	2	0	6	19	33	29	55	28	11	15	1	199

## (7) 措置機関別受入状況

(平成27年3月31日現在 単位:人)

区 分	更生相談所	緊急入院保護業務C	大阪市福祉事務所	その他の実施機関	計
淀川寮《救護》	0	5	57	22	84
淀川寮《更生》	0	6	49	20	75
大淀寮《救護》	0	2	27	9	38
大淀寮《更生》	0	5	54	20	79
計	0	18	187	71	276

## (8) 通所事業利用実績

(各月初日在籍人員)

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
淀川寮	救護	通所	21	24	25	25	26	24	25	23	24	24	24	289	
		訪問	25	25	27	26	25	26	26	25	24	24	25	23	301
	更生	通所	25	26	26	28	29	30	31	30	32	33	32	32	354
		訪問	11	12	13	13	11	12	9	10	10	10	9	8	128
大淀寮	救護	通所	1	2	2	2	2	2	4	5	6	6	6	6	44
		訪問	2	2	2	3	3	3	2	2	2	2	2	2	27
	更生	通所	12	12	17	17	17	16	19	18	18	18	19	18	201
		訪問	48	47	45	43	42	37	38	38	37	37	36	35	483
計	通所	59	64	70	72	74	72	79	76	80	81	81	80	888	
	訪問	86	86	87	85	81	78	75	75	73	73	72	68	939	

## (9) 居宅生活訓練事業利用実績

(各月初日在籍人員)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
淀川寮《救護》	5	5	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	58

## (10) 体験アパート利用実績

(各月初日在籍人員)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
淀川寮《救護》	1	1	0	0	0	0	2	0	0	1	0	2	7
淀川寮《更生》	1	2	2	1	1	2	0	0	0	0	0	0	9
大淀寮《救護》	1	1	1	0	0	2	1	1	1	1	1	1	11
計	3	4	3	1	1	4	3	1	1	2	1	3	27

## (11) 居宅生活移行支援事業

(平成27年3月31日現在 単位:人)

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
淀川寮	救護	利用者数	6	2	3	1	3	4	6	5	3	2	0	0	35
		利用終了者数	5	0	3	1	1	2	3	3	3	2	0	0	23
		居宅移行者数	5	0	2	0	1	2	3	3	3	1	0	0	20
		入院・施設入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		自己都合退所 居所不明等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
		その他	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用日数	97	55	32	2	45	70	83	61	54	22	0	0	521	
	更生	利用者数	6	3	2	2	4	4	6	7	5	2	1	0	42
		利用終了者数	4	2	1	1	1	1	2	5	4	1	1	0	23
		居宅移行者数	4	2	1	1	1	1	2	5	4	1	1	0	23
		入院・施設入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		自己都合退所 居所不明等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用日数	110	36	45	19	64	73	82	95	67	47	23	0	661	
大淀寮	救護	利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		利用終了者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		居宅移行者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		入院・施設入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		自己都合退所 居所不明等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	更生	利用者数	1	0	0	0	1	2	1	1	1	0	0	0	7
		利用終了者数	1	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	5
		居宅移行者数	1	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	5
		入院・施設入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		自己都合退所 居所不明等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用日数	7	0	0	0	10	11	31	11	9	0	0	0	79	
計	利用者数	13	5	5	3	8	10	13	13	9	4	1	0	84	
	利用終了者数	10	2	4	2	2	4	6	9	8	3	1	0	51	
	利用日数	214	91	77	21	119	154	196	167	130	69	23	0	1,261	

・貧困ビジネス対策として、良質な賃貸住宅等への入居支援する生活保護施設を利用した無料又は低額宿所提供事業

## (12) 淀川寮《救護・更生》

## ① 年間実施事業

月 日	行 事	場 所	参 加 者	
			救 護	更 生
4月17日	定期健康診断	淀川寮(レントゲン車配車)	110	90
5月22日	YODOKYUフェスタ	豊里大橋北東河川敷	99	—
8月16日	Jリーグ観戦 ガンバ大阪VS名古屋グランパス	万博記念競技場	3	1
9月25日	プロ野球公式戦 オリックスVS埼玉西武	京セラドーム大阪	—	9
10月14日	救護日帰りツアー	和歌山県バスツアー	29	—
10月16日	定期健康診断	淀川寮(レントゲン車配車)	110	90
10月21日	救護日帰りツアー	箕面スーパーガーデン	6	—

## ② 通所事業実施行事

月 日	行 事	場 所	参 加 者		
			救 護	更 生	一 般
12月3日	更生・救護施設退所者対象忘年会	かごの屋 守口太子橋店	10	7	0

## ③ 地域との交流行事

月 日	行 事	場 所	交 流 者	人 数
8月2,3日	大桐カーニバル	大桐小学校 校庭	職員,入所者,元入所者, 大桐地区住民	100

## ④ 定例会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ケース検討会(一時保護所)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ケース会議(救護)	9	14	11	9	—	10	8	12	10	14	10	11
ケース会議(更生)	24	29	26	24	28	25	30	27	25	29	26	26
職員会議	11	29	13	11	15	12	10	14	12	16	13	13
施設運営会議	—	1	5	—	12	30	—	—	19	26	24	—
救護会議	16	21	18	16	20	17	15	19	17	21	18	18
更生会議	17	22	19	17	21	18	23	20	18	15	19	19
事務職員会議	—	8	30	—	27	—	—	—	—	—	—	—
通所会議	17	22	19	17	21	18	16	20	8	15	19	19
居宅訓練会議	利用者の属する担当グループの会議に適宜出席する(月に1回～4回)											
厨房会議	25	27	27	30	26	30	30	28	18	27	27	26
経営会議	—	1	5	—	12	30	—	—	19	26	24	—
施設長会	10	9	10	9	8	10	9	10	9	7	10	10
人事考課施設長	—	9	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—
人事考課主任	—	—	16	16	—	—	27	—	19	—	9	—
人権問題指導者研修	—	—	13	—	—	—	—	—	—	—	—	—
施設内人権問題研修	11月27日,12月4日,12月10日,12月19日											
職員研究発表研修会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	24	—	—

⑤ 職員研修会等参加状況

月 日	研 修 会 名	主 催	会 場	参加数
4月22,23日	総会及び救護施設経営者・施設長会議	全国救護施設協議会	全国社会福祉協議会	1
4月25日	新任職員研修会	近畿救護施設協議会	大阪府社会福祉指導センター	2
6月5日	スーパーバイザー養成基礎研修	大阪府社会福祉協議会	大阪社会福祉会館4階	2
6月9日	社会福祉施設長研修会	大阪府社会福祉協議会	ホテル大阪ベイタワー	1
6月19,20日	近畿救護施設研究協議会	近畿救護施設協議会	コガノイベイホテル	3
6月26日	佛教大学社会福祉実習連絡研修会	佛教大学	ホテルグランヴィア京都	2
7月1日	地域福祉のコーディネーターのための基礎研修	大阪府社会福祉協議会	エル・おおさか	1
7月1日	西成の覚せい剤対策を考えるタベ	釜ヶ崎のまち再生フォーラム	西成市民会館	1
7月9日	地域福祉のコーディネーターのための基礎研修	大阪府社会福祉協議会	大阪府社会福祉指導センター	1
7月15日	地域福祉のコーディネーターのための基礎研修	大阪府社会福祉協議会	大阪府社会福祉会館	1
7月17,18日	第57回 大都市社会福祉施設協議会	大都市社会福祉施設協議会	シェラトン都ホテル大阪	1
7月24,25日	第36回 全国更宿施設連絡協議会総合職員研修会	全国更宿施設連絡協議会	大阪リバーサイドホテル	15
7月31日	第1回生活困窮者自立支援に向けたネットワーク構築に関する検討特別委員会	全国社会福祉協議会	商工会館	1
8月5日	地域福祉のコーディネーターのための基礎研修	大阪府社会福祉協議会	大阪府社会福祉指導センター	1
8月8日	地域福祉のコーディネーターのための基礎研修	大阪府社会福祉協議会	エル・おおさか	1
8月21日	第1回総務・企画委員会	全国厚生事業団体連絡協議会	全国社会福祉協議会	1
9月3日	第2回生活困窮者自立支援に向けたネットワーク構築に関する検討特別委員会	全国社会福祉協議会	更生施設・宿所提供施設 淀橋荘	1
9月4日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修「チームリーダーコース」	大阪市社会福祉研修・情報センター	大阪市社会福祉研修・情報センター	1
9月12日	第2回福祉職員研修新任職員	大阪府社会福祉協議会	大阪府教育会館たかつガーデン	1
9月18日	第2回福祉職員研修新任職員	大阪府社会福祉協議会	大阪府社会福祉会館	1
9月25日	福祉職員キャリアパス対応生涯研修「チームリーダーコース」	大阪市社会福祉研修・情報センター	大阪市社会福祉研修・情報センター	1
9月29日	第1回 大阪市社会福祉施設職員人権研修	大阪市社会事業施設協議会	大阪市社会福祉研修・情報センター	2
10月8日	第2回福祉職員研修中堅職員	大阪府社会福祉協議会	大阪府社会福祉会館	1
10月10日	第3回生活困窮者自立支援に向けたネットワーク構築に関する検討特別委員会	全国社会福祉協議会	神奈川生活保護施設	1
10月20日	第2回福祉職員研修中堅職員	大阪府社会福祉協議会	大阪府社会福祉会館	1
10月23,24日	第38回 全国救護施設研究協議会大会	全国救護施設協議会	メルパルクNAGOYA	3
10月28日	成人施設部会府外研修	大阪府社会福祉協議会	三重県人権センター	1
11月6,7日	救護施設福祉サービス研修会	全国救護施設協議会	タイム24ビル	2
11月8,9日	第1回生活困窮者自立支援全国研究交流大会	生活困窮者自立支援 全国ネットワーク設立発起人会	関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス	2
11月11,12日	生活保護施設連盟職員一泊研修会	大阪市生活保護施設連盟	彩向陽	2
11月15,16日	社会福祉士実習指導者講習会	大阪社会福祉士会・日本社会福祉士会	関西大学 堺キャンパス	2
11月20日	東淀川区社会福祉施設連絡会研修会	東淀川区社会福祉協議会	賀川記念館・しあわせの村	2
11月26日	第1回ケース事例検討研修会	近畿救護施設協議会	大阪府社会福祉館第	1

月 日	研 修 会 名	主 催	会 場	参加数
12月4日	第2回 大阪市社会福祉施設職員人権研修	大阪市社会事業施設協議会	大阪市社会福祉研修・情報センター	1
12月17日	第2回ケース事例検討研修会	近畿救護施設協議会	大阪府社会福祉館第	1
12月17日	甲種防火管理新規講習会	大阪市消防局	大阪市立阿倍野防災 センター研修室	1
12月24,25日	安全衛生推進者養成講習	大阪労働基準連合会	エル・おおさか	1
12月24日	生活困窮者自立支援に向けたネットワーク構築に関する検討特別委員会・作業委員会	全国社会福祉協議会	全国社会福祉協議会	1
1月15日	第4回生活困窮者自立支援に向けたネットワーク構築に関する検討特別委員会	全国社会福祉協議会	商工会館	1
1月29,30日	個別支援計画研修会	近畿救護施設協議会	たかつガーデン	1
1月20,21日	第5回現任者スキルアップ研修	全国地域定着支援センター協議会	大阪国際交流センター	1
1月22日	第10回スキルアップ講座 「発達障害の理解と対応」	大阪市社会福祉研修・情報センター	大阪市社会福祉研修・情報センター	1
1月27,28日	第9回「地域におけるセーフティネット推進セミナー」	全社協 全国厚生事業団体連絡協議会	全国社会福祉協議会	5
2月5日	東淀川区社会福祉施設連絡会研修会	東淀川区社会福祉協議会	区在宅サービスセンターほほえみ	2
3月2日	第2回総務・企画委員会	全国厚生事業団体連絡協議会	全国社会福祉協議会	1
3月13日	第3回発達障がい理解	大阪市社会福祉研修・情報センター	大阪市社会福祉研修・情報センター	4
3月13日	地域定着支援を考える研修会	大阪府地域生活定着支援センター	豊崎東会館	4
3月13日	第3回よりそいセミナー	よりそいネットおおさか	豊崎東会館	4





(13) 大淀寮《救護》

① 年間実施事業

月 日	行 事	場 所	参加者
4月18日	定期健康診断	大淀寮	22
6月10日	城北公園菖蒲園見学	城北公園	6
7月22日	寮外レク(カラオケ)	ジャンカラ天六店	6
8月21日	プロ野球観戦	京セラドーム大阪	9
9月27日	招待サッカー観戦	万博記念競技場	4
10月4日	ふれあいコンサート	ロート会館	3
10月18日	定期健康診断	大淀寮	28
10月22日	消防立会避難訓練	大淀寮更生・救護共同	21
11月4日	合同文化事業	太閤園	3
11月19日	日帰り旅行(奈良観光)	奈良	8
12月24日	クリスマスコーヒータム	大淀寮	36
2月25日	日帰り旅行(温泉)	池田市	10
3月27日	自衛消防訓練	大淀寮更生・救護共同	28

② 定例地域交流行事

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
喫 茶 ボ ラ ン テ ィ ア	毎週 木曜日											
OB 会 の 集 い	4月12日											
地 域 盆 踊 り 大 会	8月3・4日											
地 域 防 災 訓 練	9月6日											
敬 老 の 集 い	9月12日											
北 区 ふ れ あ い フ ェ ス タ	11月8日											
ふ れ あ い 喫 茶	毎週木曜日											
出張相談会(豊崎地区)	月1回(第2木曜日)											
ソフトボールホ`ランテ`ィア	月2回 PM											
食 事 サ ー ビ ス	月1回(第2木曜日)											

③ 定例会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
職 員 会 議	25	27	27	30	26	26	28	25	24	27	24	24
指 導 員 会 議	17	15	17	16	20	11	10	13	11	15	12	19
ケ ー ス 会 議	24	22	26	22	27		3,16	21	19	23	19	19
モ ニ タ リ ン グ 会 議	24	22	26	22	27		3,16	21	19	23	19	19
厨 房 会 議	22	28	27	30	26	26	28	25	24	27	24	6,24
施 設 長 主 任 会 議				2	7	16	15	19	17	20	23	18
通 所 会 議	3	20	18	30	21	19		1	25		26	26
事 務 会 議		19		15	18	9	9	6	4	5	5	24
北区地域包括C運営会議		22		24				6			26	
豊崎地域包括調整会議								18	11	15	13	12,31

④ 職員研修会等参加状況

月 日	研 修 会 名	主 催	会 場	参加数
6月19,20日	近畿救護施設研究協議会	近畿救護施設協議会	コガノイベイホテル	2
7月17,18日	第57回大都市社会福祉施設協議会	大都市社会福祉協議会	シェラトン都ホテル大阪	1
7月24,25日	第36回総合職員研修会	全国更宿施設連絡協議会	大阪リバーサイドホテル	4
7月25日	近畿救護施設協議会 初級職員研修会	近畿救護施設協議会	大阪社会福祉指導センター	1
9月17日	地域生活支援関係事業実施施設等連絡会	全国救護施設協議会	全国社会福祉協議会	2
9月25日 2月6日	京都府こころの健康セミナー	京都府精神保健福祉総合センター	京都府精神保健福祉総合センター	1
9月25日	北区社会福祉大会	北区社会福祉協議会	大阪市北区民センター	2
9月29日	大阪市社会福祉施設職員人権研修	大阪市社会福祉施設人権活動推進連絡会等	大阪市社会福祉研修・情報センター	1
10月2日	平成26年度近救協上級職員研修	近畿救護施設協議会	大阪社会福祉指導センター	2
10月23,24日	全国救護施設研究協議大会	全国救護施設協議会他	メルパルクNAGOYA	3
10月28,29日	成人施設部会府外研修会	大阪府社会福祉協議会	三重県人権センター	1
11月6,7日	救護福祉施設福祉サービス研修会	全国救護施設協議会	タイム24ビル	2
11月8,9日	第1回生活困窮者自立支援全国研究交流大会	生活困窮者自立支援全国ネットワーク設立発起人会	関西学院大学	3
11月11,12日	生活保護施設連盟職員一泊研修会	大阪市生活保護施設連盟	救護施設長谷山荘他	2
11月13日	第2回感染症予防対策講習会	福祉と人権の研修ネットワークおおさか	吹田市文化会館ホール	1
11月18日	労務問題関連研修会	大阪府市民局人権啓発・相談センター	クレオ大阪中央	1
11月26日 12月17日	ケース事例検討研修会	近畿救護施設協議会	大阪府社会福祉会館	2
12月3日	社会福祉法人と生活困窮者等の就労支援研修	大阪府社会福祉地域福祉推進室	Aワーク創造館	2
12月9日	人権ワークショップ研修	大阪市社会福祉施設人権活動推進連絡協議会	たかつガーデンカトレア	1
1月21,22日	公正採用選考人権啓発推進員新任・基礎研修	大阪府商工労働部雇用推進室	エル・おおさか	1
1月26日 3月16日	広げよう薬物依存症者支援	大阪市こころの健康センター	大阪赤十字会館	6
1月27,28日	セーフティネット推進セミナー	(社)全国社会福祉協議会 全国厚生事業団連絡協議会	全国社会福祉協議会	1
1月29,30日	近救協個別支援計画研修会	近畿救護施設協議会	たかつガーデン	2
2月20日	第4回栄養士調理員等研修会	大阪府社会福祉協議会	大阪府社会福祉指導センター	1
3月5日	平成26年度従事者部会人権研修	大阪府社会福祉協議会	大阪府社会福祉指導センター	1
3月13,22日	コミュニティーソーシャルワーカー養成研修	大阪府社会福祉協議会	大阪アカデミア	1
3月20日	生活困窮者自立支援法セミナー	おおさか就労訓練事業促進センター	Aワーク創造館	1

⑤ 定例行事

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
包 布 交 換	毎週1回												
体 重 測 定	30	30	30	31	29	30	31	28	26	26	27	31	
日 用 品 代 支 給	3	2	3	3	4	3	3	4	3	5	3	5	
	14	13	13	14	13	12	14	13	12	13	13	13	
	23	23	23	23	22	22	23	21	22	23	23	23	
散 髪	随時												
園 芸 ク ラ ブ	随時												
卓 球 ク ラ ブ	毎週1回												
縫 い 物 サ ー ビ ス	14	12	9	14	11	8・16	16			毎週木曜日			
寮 内 作 業	毎日												
図 書 貸 出	随時												
ビ デ オ 放 映	毎週1回												
入 浴	毎週 月・水・木・土曜日 ※夏期7～9月は毎日												
全 体 会	1・30	30	30	31	29	30	31	28	26	30	27	31	
寮 内 リ ハ ビ リ	毎週1回												
寮 内、寮 外レクリエーション	毎週1回												
日 帰 り 旅 行	年3回												

(14) 大淀寮《更生》

① 年間実施事業

月 日	行 事	場 所	参加者
4月12日	OB会の集い	豊崎東会館	45
4月18日	定期健康診断	大淀寮(レントゲン車配車)	71
4月19日	招待行事「サッカー観戦」	万博記念競技場	12
6月10日	菖蒲園鑑賞(OB会員)※救護と合同	城北公園	2
7月22日	施設外レクリエーション(OB会員)※救護と合同	ジャンカラ天六店	2
8月16日	招待行事「サッカー観戦」	万博記念競技場	7
9月6日	地域防災避難訓練	豊崎東小学校	5
10月17日	定期健康診断	大淀寮(レントゲン車配車)	67
10月22日	自衛消防訓練	大淀寮	73
3月27日	自衛消防訓練	大淀寮	68

② 定例地域交流行事

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
配 食 サ ー ビ ス	第二火曜日会食 *配食サービスは現在中断											
喫 茶 ボ ラ ン テ ィ ア	毎週 木曜日											
大 淀 寮 ま つ り	11月9日											
地 域 盆 踊 り 大 会	8月3日,4日											
敬 老 の 集 い	9月12日											

③ 定例会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
職 員 会 議	25	27	27	30	26	26	28	25	24	27	24	24
指 導 員 会 議	4	14	17	11	19	11	16	20	19	15	24	19
ケ ー ス 会 議	16	16	4	16	6	4	7	11	1	14	6	12
事 務 職 会 議		19		15	18	9	9	6	4	5	5	24
厨 房 会 議	22	28	27	30	26	26	28	27	24	27	24	6 24
通 所 会 議	3	20	18	14	21	19	31	27	25	26	26	26

④ 職員研修会等参加状況

月 日	研 修 会 名	主 催	会 場	参加数
4月17日	ホームレス全国ネット緊急研修会(～18)	NPOホームレス全国ネット	ユーとリアすみだ	1
6月5日	スーパーバイザー養成基礎研修会	大阪府社会福祉協議会	大阪府社会福祉会館	1
6月14日	ホームレス就労支援意見交換会(～15)	NPOホームレス資料センター	連合会館	1
7月14日	地域善隣会議	高齢者住宅財団	いきいきプラザ一番館	1
7月24日	更宿連総合職員研修会(～25)	全国更宿施設連絡協議会	大阪リバーサイドホテル	8
10月3日	さまざまな人権問題に関する研修会	大阪府社会福祉協議会	大阪府社会福祉指導センター	1
10月8日	福祉施設中堅職員研修会(2日目10/20)	大阪府社会福祉協議会	大阪府社会福祉会館	1
10月20日	公正採用選考人啓発推進員基礎研修会(～21)	大阪府商工労働部	エル大阪	1
11月8日	生活困窮者自立支援全国大会(～9)	生活困窮者自立支援全国ネットワーク	関西学院大学	4
12月6日	日本更生保護学会第3回大会(～7)	日本更生保護学会	龍谷大学深草キャンパス	2
1月20日	第5回現認者スキルアップ研修会(～21)	全国地域生活定着支援センター	大阪国際交流センター	1
1月26日	広げよう薬物依存者支援(2日目3/16)	大阪市こころの健康センター	大阪赤十字会館	1
1月27日	地域におけるセーフティネット推進セミナー(～28)	全国厚生事業団体連絡協議会	全社協議室	2
2月4日	福祉サービス苦情解決研修会(2日目2/10)	大阪府社会福祉協議会	大阪府社会福祉指導センター	1
3月4日	地域善隣事業全国大会	高齢者住宅財団	全電通労働会館	1
3月11日	人権研修	大淀寮更生	豊崎東会館	7
3月18日	人権研修	大淀寮更生	豊崎東会館	8

⑤ 定例行事

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
包 布 交 換	毎週1回												
体 重 測 定	30	30	30	31	29	30	31	28	26	30	27	31	
日 用 品 代 支 給	3	2	3	3	4	3	3	4	3	5	3	3	
	14	13	13	14	13	12	14	13	12	13	13	13	
	23	23	23	23	22	22	23	21	22	23	23	23	
散 髪	随時												
カ ラ オ ケ ク ラ ブ	毎週 金・日曜日												
縫 い 物 サ ー ビ ス	※11月より毎週木曜日(年末年始は除く)												
	14	12	9	14	11	8	16						
寮 内 作 業	毎日												
図 書 貸 出	毎週 月・水・金・土曜日												
ビ デ オ 放 映	毎週 日曜日 祝日の午前中												
入 浴	毎週 月・水・木・土曜日 ※夏期7～9月は毎日												
全 体 会	25	28	27	30	26	26	29	26	25	28	26	24	
医 療 相 談	9	22	18	15	12	30	20	5	16	27	23	30	